

オマケじゃない! **OCTAVE**

内蔵フォノイコライザー

OCTAVEには前ページで紹介した「PHONOMODULE」の他に、プリアンプ、インテグレートアンプに高性能フォノイコライザーを搭載したモデルがあります。

従来のプリアンプHP300MK2をさらに高性能化したニューモデル「HP300SE」。

SEモデルの登場後も、継続して販売される「HP300MK2」。

生産終了したものの長きにわたりOCTAVEのコアな製品だった「HP500SE」。そして、インテグレートアンプでは「V70SE」、「V80」。

どの製品にも搭載されるフォノイコライザーは、同社の技術を駆使した本格的なものです。CDがメインソースになる以前は、アンプにフォノイコライザー回路が入っていて当然だった、そんなことをさりげなく教えてくれるよう。それにしても内蔵モデルとは思えないクオリティの高さには驚きます。

また、製品を購入した後でも、取付可能。OCTAVEアンプを使って、アナログは最近聞き始めたという方は是非一度店頭にてご試聴下さいませ。



ステップアップトランスモジュール導入例



JBLのヴィンテージC38Bパロン。



手前ラック2段目がPHONOMODULE。4段目の左側が電源部。



髙級ハイエンドスピーカーSoundsfaber Aidaで。



AidaもパワーはOCTAVE MRE220で駆動される。

K様がトランスジスタのアンプからOCTAVEに替えられたのは約3年前。最初に使われたのは同社のプリメインアンプV80。
K様は聴かれる音楽の99%がJAZZ！スピーカーはそれに合わせて、50年も前のものとは思えない解像度と再生能力を持ったJBLパロンをお使い。
ソースはアナログプレーヤーのみ。天井まで届く棚いっぱいのレコードコレクションをお持ちです。

それならばと褒めさせていただいたのが今回の記事のメインとなりました。PHONOMODULEでした。音の厚み、空間表現が素晴らしく、ご試聴後すぐに導入を決定されました。また、PHONOMODULEのプリアンプ部分にも注目。S/Nの高さ、浸透力のあるクオリティに驚かれ、プリアンプとして活用し、パワーアンプRE290にグレードアップされたのは必然でした。
そして、最後のピースがMCステッ

プアップトランス。そのトランスをPHONOMODULEに組み込み、音が出た瞬間全てが変わりました。音の厚みと切れ味、一音一音の影の深さ、奥行き感、JAZZの演奏に必要な力強さ、それは真腹に繊細な演奏者の息遣い、指の動き等のニュアンスもよりリアルに表れ、スピーカーの全ての部分を動かし、演奏者がまるでその場にいるような表現力は圧巻。
また、つい先日はソナスファバー

Aidaを導入されたお客様のお宅にPHONOMODULEのステップアップトランスをお納めしました。このハイエンドの超髙級スピーカーからも、クラシックや様々な音楽がこのトランスを通して、天にも昇るような美しい響きを奏でています。
どこのお宅でも、今まで誰も体験したことなかったような音楽世界へ連れて行ってくれる素晴らしいフォノイコライザーです。

ドイツOCTAVEの製品ラインアップに、フォノイコライザー「PHONOMODULE」があります。その名の通り、MMやMC入力、ライン出力などを選択して様々な組み合わせ出来るモジュール方式を採用。この度新たに「ステップアップトランス・モジュール」が加わりました。この「新製品」が、とにかく凄い！！
すべてのアナログ愛好家の皆様、OCTAVEが音楽の未踏の扉を開きます。

アナログプレーヤーで常に良い音を出すのは意外と手間がかかることで、実はデジタルのほうがずっと簡単だったりします。
それでも選び抜いた機器と上手く調整されたアナログプレーヤーから生まれ出る音楽は、この上ない感動と喜びをもたらします。
アナログファンの皆様はきっと普通では得難い音楽体験を何度もされ、カートリッジやステップアップトランスを取り替えて、アームを試し、最終的にはターンテーブルも...と、いつの間にか機器が増えるのだと思います。
そうして数々の名機や優れた製品を手にした皆さまにとっても、このOCTAVEのステップアップトランスは、ちょっとした事件になることでしょう。
たとえば、パワーアンプはスピーカーユニットを駆動し、プリアンプはシステム全体を制御するという点において、これまでのOCTAVEアンプの仕事ぶりが音楽性豊かで素晴らしいのは周知のこと。それはOCTAVEの技術の高さと徹底した特性検証に基づく柔軟な発想、音楽に対する熱い思いからもたらされるものだと思います。
その結果の一つが同社の自社製トランスであり、また真空管アンプ設計のノウハウにあります。今回も昇圧トランス専用設計された独自のコア材と巻線技術によるトランス、シールド効果の高い銅製のケーシングが、新製品の大きな肝。音色が左右されるのを考慮した上で各カートリッジ専用のトランスを使用しますが、この製品の凄いのは、癖がなくそれでいて最大限カートリッジの能力を発揮させてしまうところ。盤面に針をおいた瞬間から濃い空気感に包まれ、音が出

た時にはレコードの演奏される時代に完全にタイムスリップしたような不思議な感覚に見舞われ、度肝を抜かれます。
この「ステップアップトランスモジュール」は、昇圧のみでなくイコライザー機能も兼ね、更にきめ細やかな設定として、SPU用に増幅度30倍（低出力）のモデルと、EMTやトーレンス、ヴァンデンハル用に15倍（中・高出力）のモデルがあり、そのいずれか、あるいは両方を備えた切り替えスイッチ付のもの、3種類から選択可能。
もちろんあらゆるカートリッジをお使いの方にお勧めできる製品ですが、とりわけSPUオーナーは必聴！現代のハイエンド機種ロイヤルやマイスターに限らず、歴代のSPUカートリッジでも是非

ステップアップトランスモジュール

固定インピーダンス仕様モデル IN5/IN7 ¥241,500
インピーダンス切り替え仕様モデル IN6 ¥287,700

聴いて頂きたいもの。
また、マイソニックラボに代表されるような、特殊なコア材により夢の低インピーダンス高出力を実現した最先端のカートリッジでも、ステップアップトランスの低歪コア材とベストマッチングして、現代最高の特性と、アナログで望み得なかった飽和感とは縁の無い澄んだ音場を愛聴盤から聴き取ることが出来ます。
ご自宅のアナログの音を大きく前進させる名機です！

OCTAVE PHONOMODULEでできること

PHONOMODULEはスロット式で、1出力、3入力のモジュールが搭載可能。複数台のターンテーブルを接続するのはもちろん。固定/可変出力も選択でき、ライン入力モジュールのラインアップもあるので、高音質プリアンプとしてもご使用いただけます。

組み合わせ例

- ・MM入力 + 出力(RCA×2) の場合 ¥651,000
- ・MC(XLR)入力 + ライン入力(RCA/XLR) + 出力(RCA/XLR) の場合 ¥800,100
- ・ステップアップトランス(低出力) + MC(RCA)入力 + 出力(RCA/XLR) の場合 ¥960,750

① SOUND CREATE <http://www.soundcreate.co.jp/>
〒104-0061 東京都中央区銀座5-10-6 第一銀座ビル 7F Tel.0120-62-8166
営業時間：12：00～19：00 定休日：毎週火曜日/第2、第3月曜日（祝日の場合第1月曜日に振替）

② SOUND CREATE *Legato* <http://www.soundcreate.co.jp/legato/>
〒104-0061 東京都中央区銀座2-4-17 Tel.03-5524-5828

【取り扱いブランド】LINN/PIEGA/B&W/VIVIDAUDIO/ELAC/Davone/JBL/Albedo/Sonus faber/McIntosh/Audel/PENAUDIO/Anthony Gallo/HARBETH/OCTAVE/NuForce/TRIGON/N-mode/QUADRASPIRE/ヴィンテージ各種...etc

※価格は全て税込みです。